

序 章 緑の基本計画をつくるにあたって

- 1 計画の背景と目的
- 2 計画の基本的事項
- 3 対象とする緑とその役割
- 4 計画改定の視点



序 章 緑の基本計画をつくるにあたって

1 計画の背景と目的

「緑の基本計画」とは、都市緑地法第4条にもとづき、市町村がその区域内における緑地の適正な保全および緑化の推進に関する取り組みを総合的かつ計画的に実施するために定める計画です。

平成11（1999）年11月に策定された青梅市緑の基本計画（以下、従前の計画）から十数年が経過し、「第6次青梅市総合長期計画・基本構想」および「青梅市都市計画マスタープラン」との整合や、従前の計画の策定から現在までの社会経済状況の変化に対応するため、緑の基本計画の改定（以下、本計画）を行うものです。

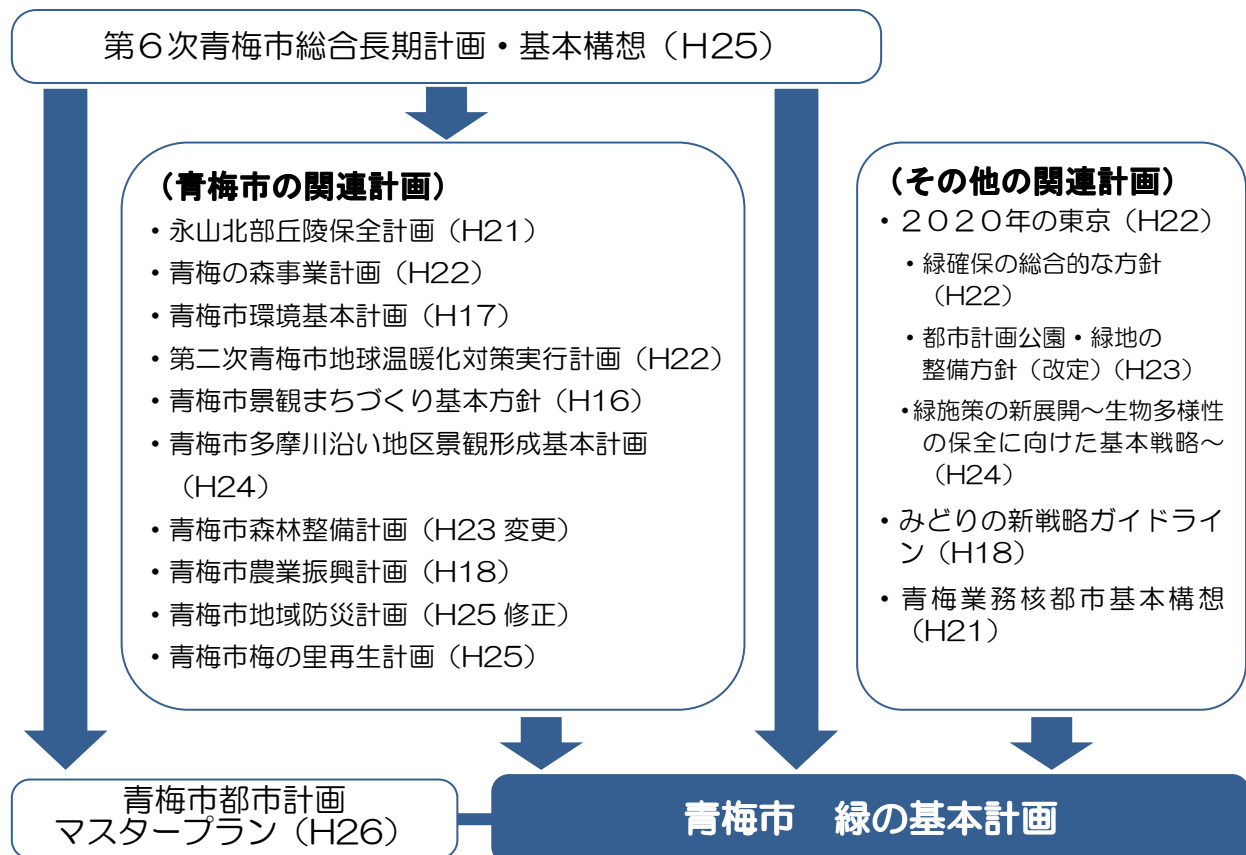
計画策定の背景

年	出来事
平成11年 (1999年)	平成22（2010）年を目標年次とした「青梅市緑の基本計画」策定
平成19年 (2007年)	上位計画である「第5次青梅市総合長期計画・基本構想」において、永山北部丘陵を含む丘陵部の「新市街地計画ゾーン」から「自然環境活用ゾーン」に変更
平成21年 (2009年)	「青梅市緑の基本計画一部見直し（変更）」公表
平成25年 (2013年)	「第6次青梅市総合長期計画・基本構想」策定
平成26年 (2014年)	「青梅市都市計画マスタープラン」改定

2 計画の基本的事項

1) 計画の位置づけ

本計画は、「第6次青梅市総合長期計画・基本構想」に即し、「青梅市都市計画マスタープラン」に適合するとともに、その他の関連計画や東京都の関連計画との整合も図った計画とします。



計画の位置づけイメージ

2) 計画の目標年次と対象区域

本計画の目標年次は、平成 26（2014）年度からおおむね**平成 35（2023）年度末**とし、対象区域は、**市全域**とします。

3) 計画の特徴

緑の基本計画は、**緑全般**に関する幅広い**総合的**な計画で、策定主体は住民に最も身近な地方公共団体である**市町村**です。地域の諸条件を十分に勘案し、以下のような事項を含めた、まちの独自性・創意工夫を発揮した**オリジナリティー**あふれる計画を策定することが可能です。

- ・都市計画による事業・制度（都市公園の整備や特別緑地保全地区の決定など）
- ・公共公益施設の緑化（道路、河川等の水辺、駅前広場や市民センターなど）
- ・民有地における緑地の保全や緑化（住民や企業の緑化活動など）
- ・緑化意識の普及啓発等のソフト面

計画策定の根拠

年	根拠法令等の動向	主な内容
平成 6 年 (1994 年)	都市緑地保全法（現在の都市緑地法）の改正	計画制度の創設
平成 16 年 (2004 年)	「都市緑地保全法等の一部を改正する法律」により、都市緑地保全法が都市緑地法に名称変更	計画の事項に都市公園の整備の方針に関する事項が追加
平成 23 年 (2011 年)	「生物多様性地域連携促進法」の施行等に伴い、都市緑地法運用指針が改正	計画の内容に生物多様性の確保の視点を追加
平成 24 年 (2012 年)	「地域の自主性および自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(第 2 次一括法)」の施行に伴い、都市緑地法および都市公園法の運用指針が改正	計画の中で地域の実情に応じた都市公園の整備の方針等を定め、その計画に則した都市公園の設置に努めること

3 対象とする緑とその役割

1) 対象とする緑

本計画では、次頁のイラストに示すような**さまざまな「緑」**を対象とし、樹木・草花等のほかにも、それらを含むオープンスペース、水面等で構成される土地や空間とします。

したがって本市では、市街地を包みこんでいる山地や丘陵地、河岸段丘の崖線などに残る樹林地、河川、農地をはじめ、公園緑地等や、道路・学校などの公共施設における緑、住宅・工場・商業施設などの民有地における緑を対象としています。

2) 緑の役割

緑は自然環境の形成や快適な生活を営む上で重要な要素です。本計画では、緑が果たすいろいろな機能を以下のような役割に分類し、これらの緑の諸機能を活用した緑のまちづくりを進めます。

環境

エコロジカルネットワークの形成

山や川などの大規模な緑は、都市の骨格を形成するとともに、生物多様性の源となります。また、市内に点在する公園緑地等や寺社境内地、農地などの緑は、市街地内における生き物の生息・生育地となります。これらの緑が、生き物の移動経路となる中小河川や連続して残る河岸段丘の崖線の樹林地、道路の緑などと有機的に結ばれることで、エコロジカルネットワークを形成します。

生産基盤

林業が営まれている山林では、建築材料や燃料となる木材が生産されています。農地では、農産物が生産されています。

また、手入れがなされた農林地は良好な環境を保ちます。

都市環境の改善

緑による緑陰形成や蒸散作用によって、気温・湿度を調節し、ヒートアイランド現象の抑制などに貢献します。

また、住宅地と工業地帯の間の緑地帯は、公災害を和らげ防止する緩衝機能をもち、騒音・振動などを軽減します。

快適な生活環境の形成

公園緑地等や街路樹、生け垣や庭木などのまちなかの緑は、快適でうるおいのある生活環境を形成します。

優れた自然環境や歴史風土の伝承

落葉広葉樹林や野草自生地、城跡などの史跡、市内各所に残る名木・古木、社寺林などは、地域固有の優れた自然環境や歴史風土を伝えています。

山地の緑

防災

火災の延焼や災害の拡大の防止

河川や農地は、延焼遮断・防火帯となります。

街路樹や住宅の生け垣、庭木などは、火災の延焼やブロック塀の倒壊などによる災害の拡大を防ぎます。

災害時の防災拠点

大きな公園緑地等は、災害時の避難場所や救助、救急等の復旧活動の拠点となり、安全な避難活動に役立ちます。

災害時の一時的な避難地・避難路

身近な公園や農地、寺社境内地などは、災害時に避難場所などへ移動する際の一時的な避難地となります。また、街路樹などによって緑化された道路は安全な避難路となります。

自然災害の発生の抑制

丘陵地端部の斜面緑地などは土砂災害の発生を軽減し、山地や丘陵地の森林、特に広葉樹林は水源かん養効果が高く、水害の発生を抑制します。

交流・観光

身近に自然と親しみ、ふれあう場の提供

山地や丘陵地、河川における保全・管理等の活動や市民農園等での農作業体験を通じて、緑は身近に森林や水辺、土と親しみ、ふれあう場を提供します。

交流・観光ネットワークの形成

山地や丘陵地、河川、大規模な公園緑地等は、広域的かつ多様な交流・観光拠点となり、それらを結ぶ道路やハイキングコース・遊歩道を通してネットワークを形成し、相互の利用活性化に役立ちます。

健康づくりの場の提供

山地や丘陵地でのトレイルラン、河川での散策や森林浴、公園緑地等での体力づくりなど、緑の利用を通じて、健康づくりの場となります。

レクリエーションの場の提供

公園緑地等は、すべての人々が、日常生活において安全かつ快適にレクリエーション活動を行える場となります。

活動を介したコミュニティの形成

花壇の設置管理や公園の清掃、森林の保全活動などの市民協働による活動や緑に関するイベントなどを通じ、市民の交流が深まり、コミュニティの形成に役立ちます。



対象とする緑のイメージ

景観

地域固有の自然景観の形成

山地や丘陵地、多摩川などの大規模な緑は、都市の輪郭や市街地の背景となり、市街地に残る河岸段丘の崖線の樹林地や梅林などは、美しく特徴ある景観をつくりだし、地域固有の自然景観を形成しています。

各々の地区を特徴づけるシンボル、ランドマーク

市内各所に残る名木・古木、社寺林や城跡などの史跡は、シンボルやランドマークとして各々の地区を特徴づけています。

まちにゆとりとうるおいを提供

公共公益施設や民有地の花壇、植え込み、まちなかの身近な公園などは、建築物が形成する無機質な都市景観を和らげ、まちなみにゆとりとうるおいを与えています。

4 計画改定の視点

青梅市 緑の基本計画(従前の計画)

従前の計画から継承する視点

「豊かな自然とふれあえるうるおいにみちたまち“青梅”をめざして」を基本理念としていました。本計画では、基本理念や基本方針で示されている以下のような方向性を引き継ぎ、重視します。

- ◆良好な自然環境の保全・活用
- ◆緑の基盤となる公園緑地等の改修の推進
- ◆協働による緑の保全と緑化の推進
- ◆環境保全、防災、レクリエーション、景観などの緑がもつ機能が発揮される緑のまちづくりの推進

新たに重視する視点

従前の計画を策定して以降の社会動向を踏まえるとともに、防災や環境等への意識の高まりなどの人々の緑に対する意向やニーズの多様化に対応するため、以下の視点を新たに重視します。

- ◆生物多様性
- ◆防災機能の強化
- ◆森林・農地の保全・活用
- ◆わかりやすく取り組みやすい内容

「第6次青梅市総合長期計画・基本構想」から配慮する視点

「第6次青梅市総合長期計画・基本構想」では、「みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅 - ゆめ・うめ・おうめ - 」をまちの将来像とし、「持続可能な都市を目指す5つの視点」を示しています。本計画においても、これらの視点を計画改定の視点として配慮します。

- ◆安全・安心
- ◆利便性・快適性
- ◆人と人との支え合い
- ◆地域資源の有効活用
- ◆健全な財政運営

青梅市 緑の基本計画(本計画)